



「木太支店(高松東営業部)」の『ZEB』認定について

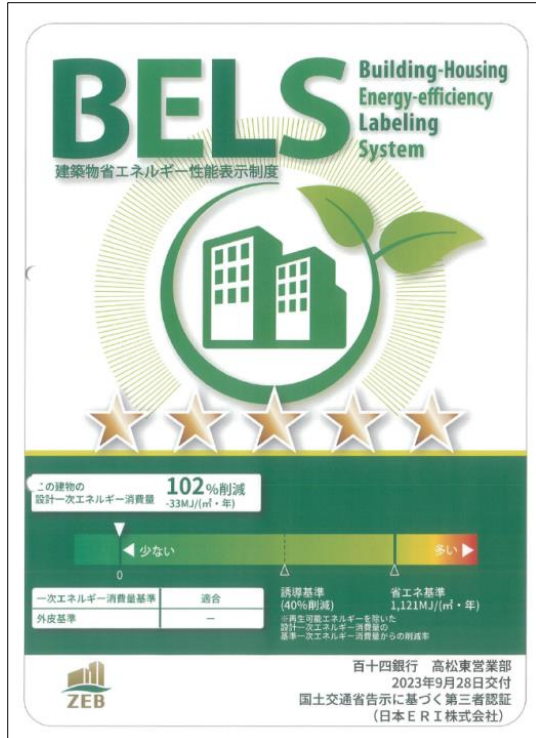
百十四銀行(頭取 綾田 裕次郎)は、2023年11月6日(月)にオープン予定の木太支店の新店舗(建物呼称：高松東営業部)において、香川県内金融機関で初の『ZEB』^{※1}の認定を受けましたので、お知らせします。

2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素・循環型社会への取組みとして、新店舗では、外壁や屋根の高断熱化、LED照明などの省エネルギー設備を導入し、従来の建物で必要となるエネルギーの52%を省エネにより削減するとともに、太陽光発電設備による50%の創エネを実現することで、年間の1次消費エネルギー(コンセントを除く)をマイナス値とします。これにより『ZEB』認定を取得するとともに、「建築物省エネルギー性能表示制度(BELS^{※2})」の最高ランクである5つ星を獲得しました。

〈木太支店に導入する省エネ等関連設備〉

省エネ	複層ガラスや断熱材、LED照明等のセンサー制御や全熱交換システムによる空調負荷低減により(基準)消費エネルギーを52%削減
創エネ	発電容量 58.41kW(パネル枚数:99 枚)の太陽光発電で(基準)消費エネルギーの 50%を供給
蓄エネ	災害時等の対応として、平常時の太陽光発電電力を蓄積した蓄電池から店舗へ一部電力を供給、また平常時充電した電気自動車のバッテリーから地域住民にスマホ充電等の電力を供給
調エネ	「EMS ^{※3} 」で照度・温度を調整し、エネルギー管理することで店舗のDXを実現

〈BELS認証・ZEBマーク〉



※1「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」

Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入により、エネルギー消費量をゼロにすることをめざした建物のこと。

※2 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)

国土交通省が主導する建築物の省エネルギー性能を第三者が評価し認証する制度。

※3 EMS(エネルギー・マネジメント・システム)

エネルギー使用状況を「見える化」することにより、電力使用量の分析・効率的な機器制御・再生可能エネルギーや蓄電池の制御を行い施設全体のエネルギーを効率的に使用するためのシステム